

2016年2月17日

ご投資家の皆さまへ

### 「マネープールファンド」の運用について

アムンディ・ジャパン株式会社

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
弊社が運用する「アムンディ・チャインドネシア株投信マネー」および「アムンディ・中東株式 マネー  
プール・ファンド」(以下、当該ファンド)の運用状況についてご案内申し上げます。

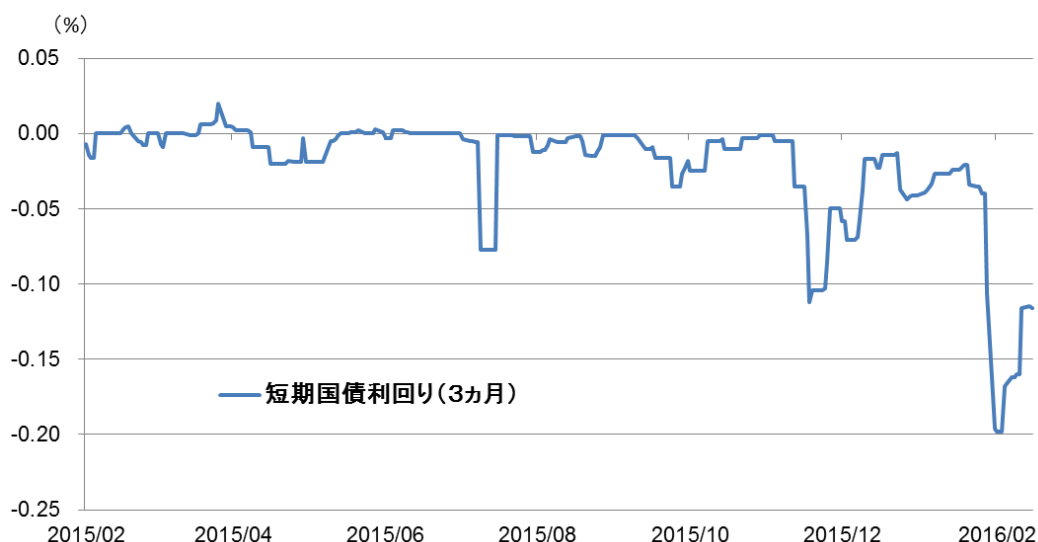
日銀は、1月29日に日銀当座預金(銀行が日銀に預ける預金)に対するマイナス金利導入を決定しました。その結果、当該ファンドの主な投資対象である残存1年以内の国債の利回りもマイナスで推移しております。

当該ファンドにおいては、ファンドの規模や利回りの水準を考慮して、短期金融市場におけるコールローンなどを中心に運用を行う方針です。コールローンなどの利回り低下により当該ファンドの利回りもマイナスとなった場合には、当該ファンドの基準価額も下落する可能性があります。ご投資家の皆さまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

今後も信託財産の運用に最大限努力して参りますので、何卒よろしく御願ひ申し上げます。

敬具

#### (ご参考) 短期国債利回り(3ヵ月)の推移 (2015年2月2日から2016年2月16日まで)



(出所：ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社作成)

次頁以降の注意事項をご参照ください。

**当資料に関してご留意いただきたい事項****投資信託に係るリスクについて**

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

**投資信託に係る費用について**

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社 が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[上限3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[上限1.0%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質上限2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

\*上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

**<ご注意>**

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

**【当資料のご利用にあたっての注意事項等】**

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。